

効率化へ紙資料廃止

杵築市議会が 県内で初めて



9月定例会に向けて議員に配られたタブレット端末。29日、杵築市議会

杵築市議会は、9月定例会からタブレット端末を導入し、紙の資料を使わないペーパーレス化をする。事務の効率化や紙の削減を図るのが狙い。同議会事務局によると、県内の議会では初めてという。

タブレット端末は議員（18人）と議会事務局に計22台を導入。議案書や予算書などの資料をデータで保存し、本会議や委員会など

中山田昭徳議長は「皆さんの資料を持ち運ぶ必要がなくなり、情報の共有もしやすく、うまく活用したい」と話している。

この際、これまでファックスでしていた事務連絡は専用アプリを利用し、議員は自宅にいなくても受け取れるようになる。事業費は約400万円。

執行部は2014年から試験的に使用しており、議会への導入は議員が要望した。12月定例会までは紙の資料と並行して利用する。

(2017年8月30日付朝刊県政面)

① 記事から読み取れるペーパーレス化のメリットを、記事中の言葉を使って説明しましょう。

事務を効率化できる。たくさんの資料を持ち運ぶ必要がなくなり、情報の共有もしやすい。

② 学校の連絡帳や連絡ノートがもしも、タブレット端末になったら、どんなメリット、デメリットがあるでしょうか。両方を自由に考えてみましょう。

メリット…▽書き写す手間が省ける▽子どもも先生も労力を軽減できる▽情報が伝わるスピードが速くなって早く帰れる▽情報伝達がより正確になり、画像や音声情報も伝えることが可能—など。

デメリット…▽持ち運ぶのにノートより重い▽いろいろな機能が付いているため、紛失すると悪用されるかもしれない▽今以上に字を書かなくなるため漢字テストの成績が悪くなる▽自分の頭で情報を記憶し、伝える能力が衰える—など。

思いついたことすべてが正解です。どんなことを考えましたか？